

## 家賃支払いに使用

シノケン

不動産販売のシノケングループ（福岡市）は2026年度にも家賃をデジタル通貨で支払うことができる仕組みを導入する。ゆうちょ銀行が導入予定のデジタル通貨「DCJPY」を活用する。入居者は月末などに固定されていた口座振替の引き落とし日を自由に設定できるようになる。

DCJPYの口座から家賃が引き落とされる。

DCJPYはブロックチェーン（分散型台帳技術）で発行・管理する「トークン化預金」の一種。従来の手法より柔軟性が高く、口座振替のタイムラグを自由に設定でき、給与を受け取る直後に設定すれば残高不足で家賃が払えないリスクを減らせる。

シノケンは25年中に実証実験する。開発元であるインターネットイニシアティブ（IIT）グループのディーカレットDCP（東京・千代田）と共同で、優位性や業務削減効果を検証する。

シノケンが手掛ける賃貸物件に入居する約5万人のうち、ゆうちょ銀行

を引き落とし口座に設定している人が対象となる。支払手段を口座振替としている入居者のうち、約4割がゆうちょ銀行を利用しているとい